

# 第3回アメリカ研修報告（1日目）

富山中部高等学校

7月3日の早朝5時半に、いよいよ富山中部高校 第3回アメリカ研修の出発の時がやってきました。テスト明けの生徒達は「眠い！」と言いつつも、これから始まる海外研修に向けて興奮気味の様子でした。

空港側のご配慮で少し早めに中に入れてもらい、出発式を執り行いました。坪池校長先生からの熱いエールを頂き、チームを代表して全体リーダーからも挑戦し成長して帰って来ること、保護者や先生方への感謝が述べられました。

その後手荷物検査を受けて搭乗。わずかな機材トラブルのため15分程度出発が遅れたものの、8時半には羽田空港に到着。その後バスで順調に移動し、10:00には成田空港に到着しました。



《富山空港で出発式》

そしてここでまたトラブルが発覚、中部生が乗る機材の到着が遅れており 15:55 成田発の予定が 17:40 発と、2 時間ほど遅れることが分かりました。しかしそれでも生徒は慌てず騒がず行動し、17:40 には成田空港を出発、17:00 に経由地のニューヨーク JFK 空港に到着しました。

その先は、生徒の一人がボストン行きのチケットを紛失するというトラブルが発生したものの、再発行手続きを取り、長い長い移動を経て全員無事にボストンへ到着しました。



《成田空港にて。

これからアメリカに出発です》

丸 24 時間以上の移動を終えて、タフツ大学の寮に入ったこの日は時差の関係でまだ 7 月 3 日(日)の深夜 0 時前。そこで語学学校団体 Embassy のコーディネーターである Kengeeさんから寮のチェックインと説明を受けました。当然全て英語ですが、生徒何名かから洗濯のことやシャワーのことなど質問が上がる一方で、「少ししか意味が分らなかった」という生徒もいました。分からないものをそのままにせず、食欲に食いついていく研修の幕開けです。

明日からは早速プレースメントテストを皮切りにプログラムが始まります。寝る時間もあまりなくとてもハードなスケジュールですが、生徒達は幸い大きく体調を崩すこともなく皆元気です。

空港での待ち時間に、一般の方やパイロットに声をかけにいく積極的な姿も一部ですが見受けられました。ここでしかできない経験に食欲に取り組み始めています。しかし一部の限られた生徒だけではなく、アメリカ研修参加者 40 名 1 人 1 人がリーダーとしてチームに貢献し、力を発揮し、1 分 1 秒を無駄にせずに全力を尽くして欲しいと思います。



《ボストンのローガン国際空港  
に無事到着しました》